

かわさき区の宝物シート

宝物No.
1-26

さとうほんじんあと・さとうそうのすけのひ 佐藤本陣跡・佐藤惣之助の碑

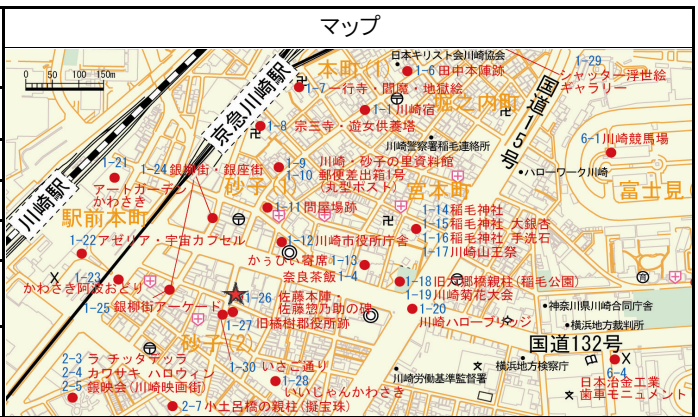
エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅前北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区砂子2-11(碑) 川崎区砂子2-4(本陣跡)
問い合わせ	NPO法人かわさき歴史ガイド協会
TEL	044-221-9117
FAX	044-221-9117
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅より徒歩10分



基礎情報

■川崎宿にあった三つの本陣（大名や公家専用の大旅館）の一つ。別名、惣左衛門本陣といわれ、門構え、玄関付、181坪の建物だった。幕末には14代将軍家茂が、京に上る際に宿泊したことで知られる。平成19(2007)年に佐藤本陣跡の解説板が設置された。

■大正時代に活躍した詩人で歌謡曲の作詞家としても有名な佐藤惣之助は、代々本陣職を務めてきた佐藤家の生まれ。本陣跡の向かい側、川崎信用金庫本店前には昭和54年(1979)に生誕の地記念碑が建てられ、円鍔勝三氏による彫像と嗣子・佐藤沙羅夫氏による揮毫の『青い背広で』の詩が刻まれる。

由来・エピソード

■本陣とは宿場の中心地にある大旅館のことで、大名や公家など限られた人々しか宿泊することができなかった。佐藤本陣（惣左衛門本陣）は上の本陣とも呼ばれた。これは川崎宿にあった本陣を、京都に近いほうから、上、中（惣兵衛本陣）、下（田中本陣）としていたことによる。

■惣之助が生まれた頃、佐藤家は雑貨商「藤屋」を営んでおり、住居は今の銀柳街沿いにあった。当時、この通りには古川という川が流れており、釣好きの惣之助は古川や多摩川などでよく釣り竿を垂らしていたという。

■川崎宿周辺には川崎信用金庫本店前のほかにも惣之助の詩碑が置かれている。川崎市体育館前の碑は、昭和30年(1955)に川崎市文化協会が武者小路実篤に『華やかな散歩』の一節を揮毫してもらい建立したもの。また、惣之助が幼い頃、山王祭りの日に横浜から遊びにくる親類の女の児への想いを綴った『祭りの日』の碑が稲毛神社境内に建つ。その幼い客こそ後の花枝夫人であり、惣之助夫妻生誕100年を記念して昭和62年(1987)に川崎今昔会が建立したものである。

補足・その他

■平成15年(2003)に東海道川崎宿2023主催による『佐藤惣之助クローズアップ2003』が開催され、「六甲風の父川崎が生んだ詩人 佐藤惣之助展」や「佐藤惣之助歌謡コンサート」が催され、翌年には惣之助の足跡を辿った『川崎に佐藤惣之助といふ人がいた』が発行された。

平成22年(2010)には、佐藤惣之助の生誕120周年を記念して、川崎今昔会と川崎区役所の主催による「佐藤惣之助生誕120周年記念展『華やかな散歩』」が開催された。

関連シート

- (1-1)川崎宿
- (1-6)田中本陣跡
- (1-14)稲毛神社
- (1-17)川崎山王祭
- (1-24)銀柳街・銀座街
- (31-4)佐藤惣之助